



2016・5・1

第 237 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

2000 万署名を広げ戦争法廃止の世論さらに

総がかり実行委員会から

以下のお知らせがありました

2000 万人署名は、さらに 6 月 30 日まで
継続します

「戦争法の廃止を求める 2000 万人統一署名」は、4 月 25 日に集約した分をいよいよ 5 月 19 日に国会に請願として提出することになります。全国のみなさんのご努力で、署名者はすでに 1000 万人を超えたと見込まれます。

けれども、全国各地では「2000 万人」の達成をめざして、いまなお署名活動が続いている人びとが多く、また、参院選挙が迫るなか、戦争法の危険性と廃止の重要性を訴える意義が大きいことから、署名は 6 月 30 日まで継続することにします。

5 月 19 日の提出以降に集まった署名は、参院選後の臨時国会に提出しますので、重ねてのご奮闘をお願いします。

2016 年 4 月 25 日 戦争させない・9
条壊すな！総がかり行動実行委員会

各地で署名の自主目標を突破

【福島県喜多方・西会津・北塩原地域】

九条の会事務局学習会
戦争法の廃止をめざして

－立憲主義の回復か安倍改憲か

◇日時：5 月 27 日（金）18 時 30 分～

◇会場：文京区民センター3A会議室

報告 1「憲法 9 条と立憲主義」 山内敏
弘・一橋大学名誉教授

報告 2「戦争法から明文改憲へー安倍改
憲のねらいと矛盾」 渡辺治・一橋大
学名誉教授

◇参加費 一般 1,000 円 学生 500 円 高校
生無料

* 事前申し込みは不要です

福島県喜多方・西会津・北塩原地域では、戦争法廃止をもとめる 2000 万署名でたてた 12000 筆の自主目標を突破し、4 月 22 日現在 12397 筆に到達しました。九条の会・喜多方の熊谷さんは、4 月 23 日に開催された九条の会・会津若松の総会で来賓あいさつし、喜多方市民ネット（九条の会・喜多方、耶麻喜多方地区平和フォーラム、喜多方革新懇の三者で構成）の共闘組織が機能したことを挙げ、①三者共闘で財政の心配がい

らなかったこと、②地域での統一行動（1時間半程度の行動を4～5回実施）が雰囲気を変えたこと、③各団体も自らの目標をきちんと決めて具体的に取組んだこと、④宣伝と署名回収方法を工夫したこと（COOP店舗に署名回収箱設置、宣伝ビラ裏面に署名用紙を印刷して回収場所も明記、店舗前・新聞折り込みなどで広範なビラ配布）などの取組みを紹介しました。（「福島県九条の会 Mail News」No63）

横のつながり生かして署名広げる

【長野県坂城町／坂城町9条の会】 人口1万余の坂城町で戦争法廃止を求める署名が9条の会などの取組みで、4月21日、目標2600人を突破し2859人に達しました。

同級会の役員などをしている梅原昌晴さん（68）は500人余を集めました。友達にまず電話で戦争法廃止への思いを伝え、署名をお願いします。署名用紙を郵送する際には返信用切手も同封しました。「お父ちゃん（夫）には頼めなかった」と1人分の返信もありましたが、職場の上司に断って同僚の署名を何人も集めた人、親戚に頼んだ人もいました。署名が返信で届いたら、お礼の電話をします。郵送で依頼するだけでなく、訪問活動にも力を入れています。

坂城9条の会は毎月、地域を訪問する統一行動に取り組み、署名推進の力にしています。「今の自民党ではダメ」という声を聞いたり、お店を訪問したらお客さんまで署名してくれたこともあります。

訪問前には30分間、戦争法廃止を訴えるスタンディング宣伝をします。

16日の行動では6組で行動し、1時間余

りで126人の署名が集まりました。

訪問すると、年配の女性は「戦争は絶対にダメ」といって署名し、高校生は「実際の戦争は知らないが、戦争は嫌だ」と応じました。

ニュースを全戸配布し署名訴え

【高知県芸西村・田野町／九条の会等】

高知県東部の芸西村と田野町で、九条の会などが戦争法廃止の2000万署名の目標達成に向け、奮闘しています。

芸西村では、九条の会が20日に最終集約する予定で、有権者の2割にあたる650人の目標に到達する見込みです。昨年7月から戦争法廃止の会員の願いを載せたニュース400部を3回発行。全戸配布しながら署名を訴えてきました。

白石浩一事務局長は、ニュースを受け取ってくれた相手が「戦争はいかん。孫を戦争へやりたくない」などと署名してくれ、ほとんど断らないと語ります。「署名を集めて持ってきてくれる人もいました。20日の最終集約が楽しみです」

田野町議の坂本幸義氏は「何十年も、署名は100人以上集まったことがなかった。こんなことは初めて」と語ります。断られたのは1人。その理由も「今まで署名したことがない」とのことでした。「足を踏み出せば応えてくれる情勢だ」と語ります。

「戦争する国はダメ」の思い結集し

【和歌山県日高町／日高平和を願う9条の会】 日高平和を願う9条の会は4月29日、戦争法廃止を求める2000万署名の目標達成を発表しました。

人口 7918 人（3 月 31 日現在）の日高町で同会は 2000 人を目標に取り組み、18 日 2158 人と目標を上回りました。

同会の田中薫代表世話人は、「戦争する国はダメ」の思いを込めた署名が大きく結集されたと強調。「孫を戦場に送れない」「わが子の命を危険にさらすことはできない」「安倍さんのやっていることは怖い」など町民の声や、自衛隊員の家族も「この法律は困る」と署名したことを紹介しました。同氏は、昨年日高町議会に提出した「国際平和支援法案と平和安全法制整備法案の慎重審議を求める意見書」可決の原動力となった署名 1332 を大きく上回ったことを報告し、引き続き奮闘を決意しました。

他の団体との共同も広げて

【千葉県／安保法廃止オール千葉】 戦争法の廃止を求める千葉県内の 14 の市民団体が 4 月 19 日、「安保法廃止・立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉の会」を結成しました。千葉県庁内で会見した「安保法廃止を求める弁護士の会・千葉」の共同代表・高橋勲弁護士は「違憲の安保法制を廃止するための統一的な運動が千葉県でも実現した。県内の総力を結集する運動を広げたい」と話しました。

関係者によると、会結成に向け、「9 条の会・ちばけん」「千葉大OG・OBの会」「ママの会@ちば」などが話し合いを重ね、「事態は待ったなしだ。県段階でも統一を」の声が「オール千葉」結成を後押ししました。

会見後の署名行動には、各団体から約 120 人が参加し、色とりどりの旗や横断幕を手にも、代表者がリレートーク。多くの市民が

各団体の趣向を凝らしたビラを受け取り、1 時間で 115 人分の署名が集まりました。

娘と一緒に署名に応じた女性は「安倍首相は信頼できないと感じていたけど、(戦争法の) 強行採決が決定打でした。ああいう決め方で、子どもが戦争にまきこまれるのはおかしい」と話しました。

道内の平和団体が一堂に

【北海道／九条ネットワーク北海道】 道内各地の「九条の会」でつくる「九条ネットワーク北海道」は 4 月 16 日、戦争法廃止をめざす交流集会を札幌市で開きました。

集会には、地域「九条の会」の代表や、北海道平和運動フォーラムの長田秀樹事務局長、護憲ネットワーク北海道の瀬尾英幸運営委員、北海道憲法共同センターの黒澤幸一共同代表が参加。道内の平和運動を支えてきた団体の代表が一堂に会しました。

3 氏は、戦争法の廃止を求める運動について報告。黒澤氏は「戦争法廃止へ向けて、参院選でとどめをさそう」と訴えました。

「市民の風・北海道」共同代表の川原茂雄札幌学院大学教授が衆院 5 区補選をめぐる野党共闘実現のドラマを紹介。「市民と日本共産党、民主党（民進党）が毛利元就の“三本の矢”の精神で一緒に立ちあがった。私たちが風を起こし、安保法廃止、立憲主義を回復する議員を増やそう」と呼びかけました。

「市民集会」成功へ広範な勢力結集

【千葉県市川市／九条の会市川】 昨年の「安全保障法案の廃案を求める 9・6 市川市民集会」には 550 名が参加し、賛同者は

個人 668 人、団体 37 と、憲法・民主主義を破壊する安倍政権への市民の怒りの結集の場となりました。

この共同行動を安保法制廃止へ発展させるために「戦争をさせない 1000 人委員会・いちかわ」、「九条の会市川」、「安全保障法に反対する県議（3 人）・市議（15 人）の会」の 3 団体は協議し、参議院選挙の直前に「安保法制の廃止を求める 6・12 市川市民集会」を開催するために、134 の市内団体、140 の宗教者（寺院・教会）と個人宛に実行委員会結成の案内をしました。

第 1 回実行委員会（2 月 29 日）には、市議会議員 4 人を含め 39 名（23 団体）が参加しました。「安保法制廃止まで会を継続すべき」という提案や、「2000 万人署名」をどう取り組んでいるか、どう広げられるか、などの意見が交わされました。

第 2 回実行委員会（3 月 23 日）では、今後の取り組み、集会の概要を討議しました。4 月 30 日に集会成功に向けた「プレ集会」を開催し、宣伝の強化と賛同者を広げることを確認しました。（市川「総合がかり実行委員会ニュース No1」）

衆院選挙での野党共闘を要請

【東京都国分寺市／国分寺九条の会等】

3 月 28 日）夜、国分寺駅ビルの L ホールで行われた「戦争する国 No！暴走政治 Stop！共同を広げる市民の集い」は 200 人を超える参加者で超満員となりました。各党や無所属の市議・前市議、元衆院議員も参加され、元内閣法制局長官の阪田雅裕さんの姿もありました。ニュースキャスターの金平さんが講演しました。

集会では、衆院選 19 区の野党各党への申入れを行うこと（11～12 日各党に申入れを行いました）、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合@国分寺（略称・市民連合@国分寺）」を結成することを決めました。（国分寺九条の会「輝け憲法九条」No137）

憲法カフェを開店、口コミがカギ

【川崎市生田区／生田 9 条の会】 生田 9 条の会は 3 月 18 日午後、生田教会の会議室で、憲法 9 条や平和に関する「いわゆる学習会」ではなく、お茶を飲み、手作りケーキを食べながら気楽に憲法関連の話し合いをする「生田憲法カフェ」を開き、14 名の参加がありました。

米国から一時帰国中の国際スポーツ心理学研究者トーマス・フクイさんの「米国から見た日本の政治状況」と題する卓話を 30 分余り伺い、お話を受けての懇談、さらには参加者それぞれが日ごろ思っている憲法に関連する話題が提供されました。

フクイさんのお話は大変興味深いもので、例えば沖縄の翁長知事はアメリカでは（特に政治エリートたちから）その威厳ある政治姿勢ゆえに尊敬されている、しかし、そのことを日本のメディアは把握していないから報道できていない、あるいは、日本の外交官や政治家の外交のまずさについて（交渉議事録さえ無かったりいい加減だったり）、などなどです。

この「生田憲法カフェ」、まだ開店したばかりで繁盛するかどうかは、その口コミによる評判次第ですが、継続予定です。（「生田 9 条の会ニュース」第 58 号）